

(報道発表資料)

2026 年 9 月 24 日

滋賀県
NTT 西日本株式会社 滋賀支店
株式会社マクニカ

滋賀県彦根市で 2 年目となる自動運転 EV バスの実証運行を開始

滋賀県（知事：三日月大造）の「令和 8 年度 Shiga Smart Access 自動運転チャレンジ事業」（以下、本事業）を NTT 西日本株式会社（滋賀支店長：藤岡聖和、以下、NTT 西日本）にて実施します。

自動運転 EV バスで世界をリードする株式会社マクニカ（代表取締役社長：原 一将、以下 マクニカ）とともに、滋賀県における「持続可能な地域交通ネットワークの維持・活性化」等の地域課題の解決に向け、2026 年 10 月 12 日（月）から 11 月 15 日（日）までの 32 日間、彦根市内にて 2 回目の自動運転 EV バスの実証運行を行います。

2026 年度は、2025 年度の実証運行の成果を踏まえ、運行ルートを滋賀県を代表する観光名所「彦根城」のお堀内まで延伸するとともに、AI アバターによる観光・乗車案内、周辺地域への周遊を促すデジタルスタンプラリーを新たに導入します。あわせて、一部交差点での信号連携システムの導入や路上駐車回避など技術的な改善を図り、より安全で実用的な自動運転サービスの検証を進めます。

1. 背景・目的

滋賀県においては、社会情勢の変化に対応した持続可能な交通ネットワークの維持・活性化のため、滋賀地域交通ビジョンを策定し取り組みを進められています。多様な移動ニーズに既存の公共交通だけで応えていくことは困難であり、厳しさを増しているバスの運転士不足への対応など、自動運転の実現は地域交通の維持・活性化のために重要です。

このため、県内での実用化に向け、2024 年度に調査を実施し、モデル事例として、世界遺産登録を目指す彦根城の周辺エリアを選定し、2025 年度には彦根市の「彦根城ルート」において初の自動運転 EV バスの実証運行（彦根駅～いろは松駐車場の往復）を実施しました。

2026 年度はこの成果を踏まえ、2027 年度のデスティネーションキャンペーンを見据えて、ウォカブルなまちのシンボルとなる「楽しく、グリーンな移動手段」として、公共交通全体の活性化やまちの魅力向上

等につながるよう、彦根市と連携して、技術の高度化、社会受容性の向上を図りながら、実証運行を進めていきます。

実証運行を通じて、自動運転の効果や公共交通を軸としたまちづくりの魅力を示し、地域交通の課題を解決する手段としての可能性を検証し、県内各地での新たなモビリティ導入に向けた取組につなげてまいります。

2. 概要

「彦根市彦根城ルート」において、以下のエリア・期間等で自動運転 EV バスの実証運行を行います。

また、10月14日（水）から11月15日（日）までの一般運行期間は、県民や来訪者など一般のお客さまにご乗車いただくことが可能です。

(1) 本事業概要

- 事業主体： 滋賀県
- 運行： NTT 西日本株式会社、株式会社マクニカ
- 実証内容：レベル4の実現をめざし、本事業ではレベル2（運転手同乗）での実証運行を実施
- 運行エリア：彦根市彦根城ルート（別紙2参照）
- 実証期間：2026年10月12日（月）から2026年11月15日（日）までの32日間
注1）10月12日（月）は子ども体験乗車、10月13日（火）は関係者のみの試乗会となります。
注2）10月17日（土）、11月3日（火）、11月8日（日）については終日運休となります。
- 使用車両：自動運転 EV バス Navya Mobility 社製「EVO3」
 - 実証運行における乗車定員9人
 - 速度18km/h未滿



図 1.自動運転 EV バス車両

(2) 一般運行

- 実施期間：2026 年 10 月 14 日（水）から 11 月 15 日（日）まで
注）10 月 17 日（土）、11 月 3 日（火）、11 月 8 日（日）については終日
運休となります。
10 月 18 日（日）は、いろは松駐車場で折り返し運行
- 運行ダイヤ：9 時台～17 時台、平日・休日ともに 8 便（別紙 2 参照）
- 乗車予約：予約サービス「ロコバス」を用いての予約が可能です。（別紙 2 参照）
※予約なしでも、若干の当日ご乗車枠があります
- 予約開始日：2026 年 10 月 1 日（木）
- 運賃：無料

3.令和 8 年度の新たな取り組み

(1) ルートの延伸 ～彦根城のお堀内へ～

2025 年度の「彦根駅～市役所前～いろは松駐車場」の往復ルート（約 1.5km）から、2026 年度は「彦根駅～いろは松駐車場～彦根城前～大手前駐車場～彦根駅」（約 3.0km）へと延伸します。滋賀県を代表する観光名所「彦根城」のお堀内まで乗り入れることで、観光客の回遊性向上とまちなかの賑わい創出を図ります。

(2) 車両機能等の技術面の向上

実用化に向け、以下の走行技術の高度化に取り組みます。

- 路上駐車回避：路上駐車車両等の障害物を検知し、安全に回避走行する機能を検証します。
- 信号連携システムの構築：ルート上の一部の交差点において、車両が信号情報を受け取るシステムを構築し、交差点を自動で通過、停止する制御を行います。

(3) AI アバターの導入

自動運転 EV バス車内で AI アバターによる乗車案内や彦根城周辺の観光情報の提供を行います。多言語対応や双方向のやり取りを通じて、来訪者の利便性向上とおもてなし体験など、付加価値向上に取り組みます。

(4) デジタルスタンプラリーの実施

自動運転 EV バスの利用とあわせて、彦根城周辺スポットを巡る、彦根市内でお買い物をする
と「特別なひこにゃんデザインをあしらったデジタル特典(NFT)」が貰えるデジタルスタンプラリーを実施
します。スマートフォンを活用した周遊企画により、自動運転バスの利用促進と地域観光の活性化
を図ります。

4. 各社の役割

- 滋賀県 : 事業主体
- 彦根市 : 実証・実装フィールドの調整・提供、関係者調整等協力
- NTT 西日本（株） : 実証事業統括、自動運転システム導入エンジニアリング、デジタルスタンプラリー導入、アンケート調査 等
- （株）マクニカ : 自動運転システム導入エンジニアリング及びサポート、オペレーターメンバーの体制構築 等
- 近江タクシー（株） : 運行保安業務、遠隔監視業務

5. 今後の展開

本実証運行結果を踏まえ、自動運転レベル4の社会実装の実現に必要な課題、対処策の抽出を行い、引き続き、実証運行を積み重ね、自動運転レベル4の社会実装をめざしてまいります。

また、ルート延伸や AI アバター・デジタルスタンプラリー等の付加価値向上に向けた取組を行いながら知見を積み重ね、公共交通の利用促進、観光やまちの賑わい創出等の新たな需要の喚起に向けた地域交通ネットワークにおける自動運転の活用可能性について検証していきます。

※ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。現時点では、発表日時点での情報と異なる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。



令和8年度Shiga Smart Access
自動運転チャレンジ事業

**予約
優先制**

自動運転バスに

乗車しませんか？

**運賃
無料**



ひこにゃん2026秋ver.で
走ります！



LINEの友だち追加により、
デジタルスタンプラリーに
参加して画像をゲット

詳しくは
こちら

乗車特典

自動運転バス
キーホルダーをプレゼント！
※各日先着順、なくなり次第終了

※写真は、R7実証車両

AIアターの
バス乗車案内も！

運行日程

2026年 **10月14日(水)～11月15日(日)**

※10月17日、11月3日、11月8日は連休 10月18日は、彦根駅～いろは松駐車を折り返し運行

運行ルート

彦根駅
(西口)

→

いろは松
駐車場

→

彦根城前

→

大手前
駐車場

→

彦根駅
(西口)

R8年度は、彦根城ヘルートを延伸！
自動運転技術の向上や、信号との連携(1か所)を新たに行います。

滋賀県では、社会情勢の変化に対応した持続可能な交通ネットワークの維持・充実のため、「滋賀地域交通計画」を策定し、取組を進めています。その取組の一つとして、公共交通の活性化やまちのにぎわい創出などを旨とし、自動運転バスの実用化に向けて取り組んでいます。令和8年度は、彦根城まで運行ルートを延伸したほか、信号連携を1か所で実施するなど、自動運転技術の向上や対応範囲を拡大しながら、実証運行を行っています。ぜひ乗車してみませんか？

自動運転バスについて

自動運転バスは、車体のセンサー等を使って自動で走行、停車、右左折等を行います。1便につき9名ご乗車いただけます。将来のレベル4自動走行に向けて、今回はオペレーターが乗乗するレベル2で、低速で十分に安全確認を行いながら運行します。さらに、乗車とあわせて楽しめるデジタルスタンプラリーも開催します。



Hikone Castle Town
彦根城を世界遺産に

主催・問合せ先 滋賀県交通まちづくり部交通まちづくり政策課
運行 NTT西日本株式会社滋賀支店 [TEL]077-528-4183

協賛 

©HIKONE 詳しくはこちら



滋賀県 HP

